

編集後記

小児科診療を行っているとき皮膚に関する相談を受けることが多々あります。水痘か判断してほしい、水いぼでしょうか、蕁麻疹が出ました、など皆様も経験があるのではないのでしょうか。そんななか、健診や予防接種などの際に“ついで”に相談されることも多い皮膚トラブルがアトピー性皮膚炎ではないかと思います。

今月号では「クリニックで診る小児アトピー性皮膚炎のプライマリ・ケア」というテーマのもと、最前線でアトピー性皮膚炎の診療をする小児科医に向け、皮膚科のエキスパートの先生方から具体的なスキンケアの指導方法や合併しやすい皮膚疾患への対処法のコツをご教授いただきました。

アトピー性皮膚炎の病態説明は2000年頃から急激に進み、現在は皮膚のバリア機能の破綻が基本病態の一つであることがわかっております。また、アトピー性皮膚炎があることで、その後の食物アレルギーや気管支喘息、アレルギー性鼻炎の発症リスクが上がることも疫学研究で報告されており、アトピー性皮膚炎はアレルギーマーチの根本と考えられるようになりました。とくに食物アレルギーでは湿疹のある皮膚から食物アレルギーへの経皮感作が起

こる可能性が示唆されており、乳児期のアトピー性皮膚炎をいかに予防、あるいは早期治療するかが課題となっております。

2010年代に入ると、バリア補強による発症予防効果の研究が行われるようになり、乳児期から保湿をすることでアトピー性皮膚炎の発症を3割程度予防し得ることがわかりました。現在、われわれが日常診療のなかで手に取る「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2015」（日本アレルギー学会）にも「乳児期を含め早期からのバリア機能を十分に保つことがアトピー性皮膚炎の発症、経過を軽減させる可能性がある。保湿がもっとも重要な治療と考えられる」と記載されており、乳児期からのケアの重要性が強調されております。これはすなわち、乳児を最初に診察する小児科医が担う役割の重要性が示されているとも読み取れると思います。

アレルギー疾患対策基本法が成立し、厚生労働省により各都道府県にアレルギー拠点病院が設置されつつあります。国を挙げたアレルギー診療の機運が高まるなか、本誌の内容が先生方の日々の診療のお役に立つことを願います。

(高橋 孝雄)

編集：伊藤保彦・河野陽一・中西敏雄・岡部信彦・高橋孝雄（ABC順）

小児科

第60巻 第2号 2月号
2019年2月1日発行（毎月1回1日発行）
定価（本体2,700円＋税）

年間購読料金
定価（本体42,100円＋税）
〔年間13冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕
〔年間予約購読者に限り送料無料〕
※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社
発行者 福村直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14
Tel 03(3811)7165〔雑誌部直通〕
Tel 03(3811)7184〔営業部直通〕
Fax 03(3813)0288
<http://www.kanehara-shuppan.co.jp>
振替口座 00130-1-191269
印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005
広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。